

# 奨励賞

## ○ 設計者

# 納谷 学 + 新

- 東京建築士会
- 納谷建築設計事務所



(左より、納谷 学、新)

## ○ 専用住宅

# 恵比寿の住宅

- 東京都渋谷区

## ▶▶▶ 選 評

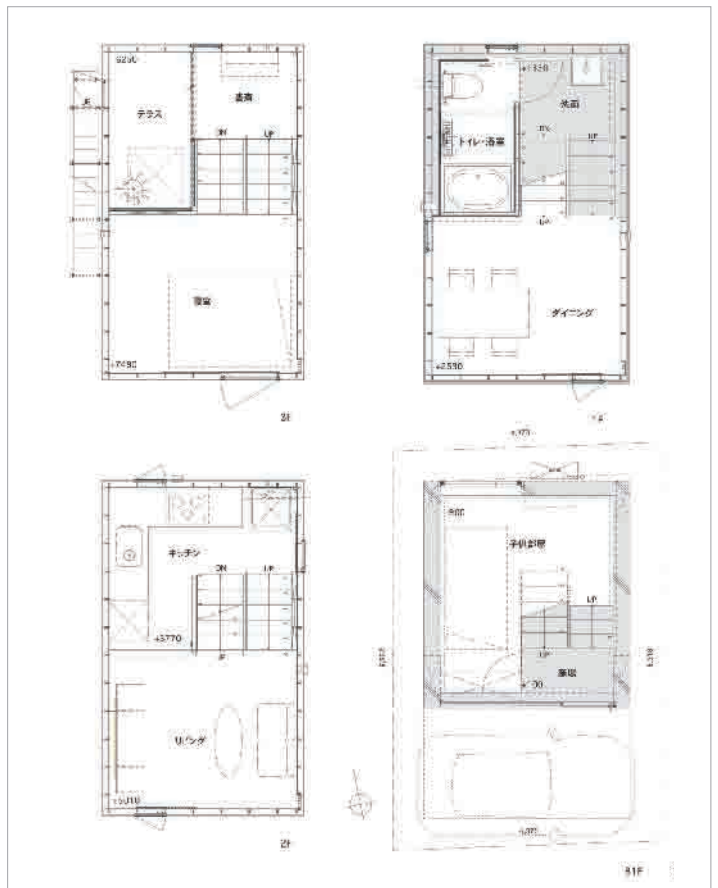
恵比寿の住宅密集地区内にある28.52㎡(8.6坪)という極小敷地に建てられた、建築面積16.89㎡(5.1坪)、延床面積62.844㎡(19.0坪)の住宅である。

まず、川に近い軟弱地盤のため地盤改良を施した上にRC壁造の半地下階を建てる。その外周に溝型に加工した鋼板にフラットバーを挟んだ壁柱を立て、デッキプレートと床を差し掛け、RCとの合成スラブを構成することによって、壁と構造を一体化した凹凸のない室内空間を実現している。前面道路の幅員が2m弱であるため、鉄骨構造部品をすべて人力によって運搬と建方が可能な重量(80～100kg)とサイズとしている。RC造の半地下部分を道路から引っ込めて駐車場を確保し、その上の間口3.155m、奥行5.355mの鉄骨造のヴォリュームを前後に2分してスキップフロアとし、床剛性を負担する鉄骨階段で結ぶことによって、間仕切のない立体的な3層の一室空間住居を実現している。最上階に置かれた室内テラスは、天空光の採光と空間的な広がりを与える、この住宅で唯一の「ゆとりの空間」である。外装は、壁柱外周にロックウールを吹き付けて断熱を確保し、その上に窯業サイディングを張り、壁柱のモジュールに合わせて縦長のアルミサッシを取り付けている。

露地に面した外観がやや素っ気ない点が気になるとはいえ、隅々まで考え抜かれた都心の敷地ならではの立体最小限住宅である。(難波和彦)



A



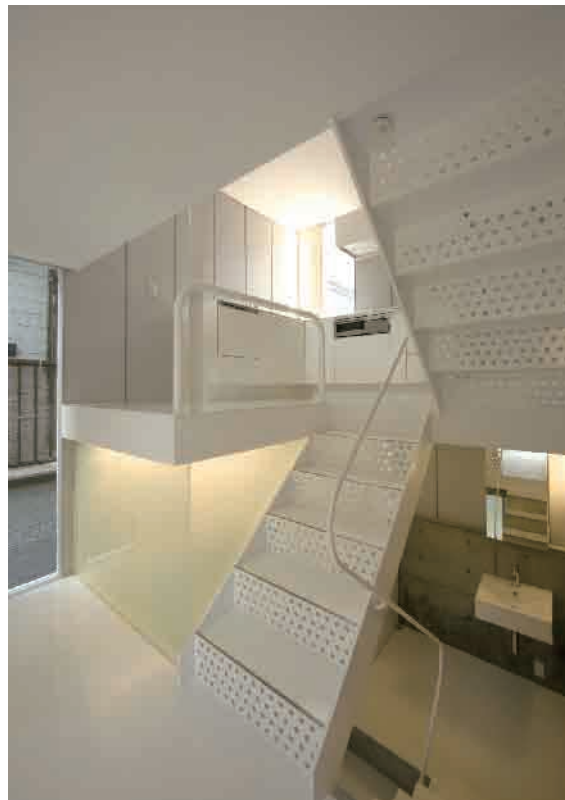
平面図



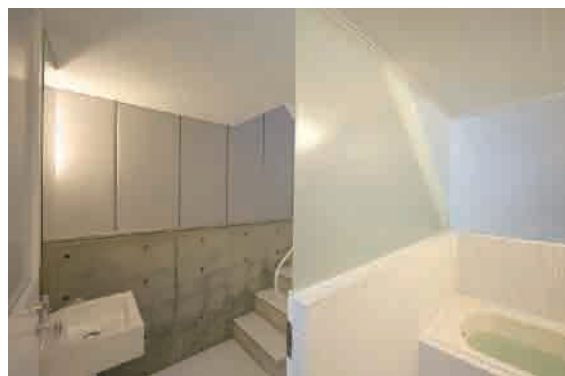
B



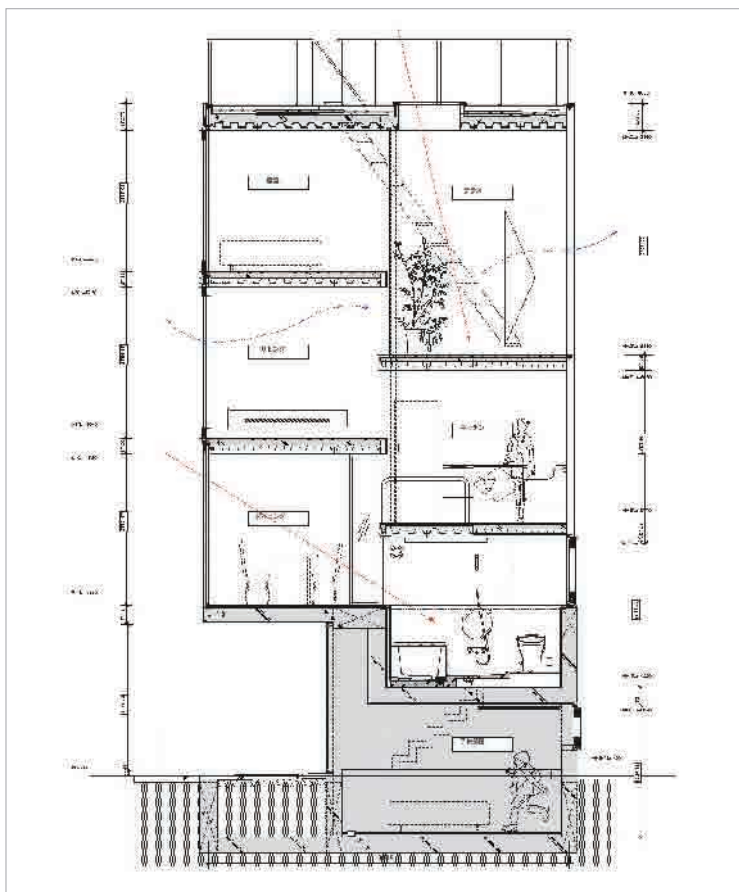
C



D



E



断面図

- A : 外観 B : 室内テラスから寝室方向を見る
- C : リビングから室内テラス方向を見る
- D : ダイニングからキッチン方向を見る
- E : トイレ・浴室、洗面スペース

写真撮影：吉田 誠

- 構造・階数：S造+RC造、地上3階建、地下1階
- 敷地面積：28.52㎡ ● 建築面積：16.89㎡
- 延床面積：62.844㎡ ● 竣工：平成21年11月15日